

## 課題原稿

家族の世話や介護をしている子どもたち、  
いわゆる「ヤングケアラー」の支援に  
つなげようと、

大阪府教育庁は、教育や福祉の専門家  
「スクールソーシャルワーカー」  
を増員する方針を固めました。

ヤングケアラーを巡っては、大阪府が、去年、  
すべての府立高校の生徒を対象に実態調査を行い  
1300人あまりが、  
「世話をしている家族がいる」と答えたことが  
わかっています。

このうちの半数以上が、  
「周囲に相談した経験が無い」と  
回答したことから、

大阪府教育庁は、  
ヤングケアラーを支援する体制が必要だとして、  
府立高校のスクールソーシャルワーカーを  
増員する方針を固めました。  
大阪府は、増員する人数などを検討した上で、  
新年度予算案に反映させることにしています。

今回の調査結果の分析に加わっている  
大阪歯科大学の濱島淑恵教授は、  
（はましま・よしえ）

「今回の結果をさらに分析し、  
ヤングケアラーの支援につなげるための目安を、  
学校や福祉の現場に示してゆく必要がある」と  
話しています。